

移住定住施策や 少子化対策の取り組みは

横尾 政明 議員

今年の小学校の入学生は15人でした。少子化が進んでいるのを実感し、同時に対策を立てなければならぬと思います。子どもや移住定住人口を増やしていかなければ牟岐町の将来が不安です。

そこで子育て世代に対しては出産祝い、移住定住者に対しては定住準備金等の

助成制度を設けてみてはどうか。人口増が期待できるこれらの施策は重点課題として整備し運用していかなくてはならないと考えます。

福井町長

移住人口を増やすためには、牟岐町では魅力のある町並みや自然を再生していくしかないと考えています。



子育てクラブで交流する親子

そのための取り組みの一つが羽島の重伝建の指定であり、美しい町並みを取り戻し、町出身者に帰ってきて欲しいと思っています。また、空き家の有効活用は重要な施策であり、活性化センターを核として取り組みを開始したいと考えています。

福井町長

大島湾内に生息する千年サンゴは、規模として国内でも例をみない、また、国外でも殆ど例がないコブハマサンゴです。県もその貴重性に『千年サンゴと生きるまちづくり協議会』を立ち上げご尽力していただいています。しかしダイバーしか見られないことやPR不足のためか、あまり知られていないようです。町や県の資源として守っていくためにも、交流人口増加のためにも、全国的にPR効果の高い千年サンゴの日の制定は良い案であり、今後千年サンゴと活きるまちづくり協議会で協議するとともに、適切な日の制定やその日の行事などについて、ご相談してまいりたいと考えています。

千年サンゴの日を 制定してはどうか

横尾議員

観光資源である千年サン

編集後記

ラジオ体操第一が一日の始まりで、カードに印を捺してもらおうとすぐに西の港にかけつける。

鰺釣りが目的で、最初は岸壁にいるフナムシをつかまえてエサを釣る、それを捌いてまた次のエサにする。あまりおいしくないのか、なかなか釣れない。すると一隻の漁船が帰って来る、シラス漁だ、おっちゃん、エサにするから頂戴、子どもの声にたぐさんのシラスをいただいた。うれしかった、たぐさんの鰺にも出会えた。

午後には蝉取り、川遊び、唇の色が変わるまで遊んだ。到底、宿題などするヒマはなかった。そのツケは月末に、おまけは母の顔。

夏休み、もう一度あるならもつと計画的に遊びたい。

たぐさんの出来事は、思い出として朝陽と共に幕を開け、夜露と共に大地にしみこんだ。